

特別編集 心のコラム 「不干涉の法則」 佐藤 公一

「不干涉の法則」という全ての人に大切な法則があります。

不干涉とは、自分の選択を大切にすれば相手の選択も大切にするという事です。

不干涉とは、各個人の自由のための精神的な法則です。

無関心は愛の逆の言葉ですが、不干涉は深い愛の言葉です。なぜなら、私がされて嬉しい事を人にしているからです。その人に関心はすごくあるけれども、あえて

必要以上に干涉しないことを選択している愛の行動なのです。または、忍耐の行為なのです。そう、愛とは忍耐を伴う事もあるのです。



この「不干涉の法則」を学校も親も誰も教えてくれなかったので、多くの親や教師は苦しんでいます。

不必要な干涉は、指導者、子供、双方に不要な苦しみを与えます。また必要以上の干涉は、人の成長の妨げになるので、ほんとに無駄な苦しみになってきます。

この世界には同じ人間は一人もいません。考え方、感じ方、成長度などは個人によって異なります。個人個人の成長度を尊重するという事が宇宙の法則（不変の法則）であり、この法則は人の心を軽くし、幸せに導く人生必須の法則なのです。

逆に、人が他の人の人生に干涉すればするほど自分の人生も他の人々から干涉されます。そうこの法則は*因果の法則でもあるのですね。

※因果の法則とは、原因とその影響による結果の法則と言って、水を飲んだら（原因）その影響による結果によってオシッコが出る、みたいに、やはり不変の法則なのです。

もっと具体的に干渉についてお話しすると、相手に対して、このようにすべきだと思ったり、自分の考えを押し付けたり、相手の許可を得ずに手助けしたりアドバイスしたりすることが干渉です。

さらには、相手のしている事は間違っていると思う事すらも干渉に含まれます。

それよりも相手がなぜそう考えるのかとか、感じるのかとか、行動するのかなどを理解する事の方が遥かに有益な事です。

もし世界中の人々が他人を必要以上に干渉するのをやめ、そのエネルギーを自分の人生を主導する事にそそいだとしたならば、世界中にもっと笑顔が増え、親子の問題や人間関係の問題、また大きくは戦争や飢餓の問題ですらもっとも改善していくことでしょう。

人にはそれぞれ成長の段階があります。

本来は人それぞれがそれぞれの段階に応じてその人のペースに応じて学べば、みんながイキイキと輝いてきます。

私は論争を避けます。私が求めるのは「理解」なのですから。